

仲間とともに 子どもたちとともに

～ この10年間の歩み ～



KIWANIS CLUB OF TOKYO

一般社団法人 東京キワニスクラブ



「ともに生きる」「ともに育つ」歩み

～東京キワニスクラブ創立60周年記念～

1964年1月、東京キワニスクラブは産声を上げました。

そして、今年60年目。この10年はコロナ禍もあり、激動の歳月でしたが、会員相互の親睦・交流とともに、キワニスドールのほか、子どもたちとのさまざまな関りを創り上げてきました。

子どもたちと「ともに生きる」「ともに育つ」——そんな歩みを皆様と一緒にたどっていただけたらと、この記念冊子を刊行しました。

世界的な社会奉仕団体であるキワニスクラブは2005年にクラブのモットーを“Serving the children of the world”(世界の子どもたちに奉仕する)に変更しました。

そんな中、「自分たちで手を動かし、汗をかき、相手の顔が見えるボランティア活動が出来ないか」という機運が次第に高まりました。

50周年の翌年、2015年に私たちは初めて「子ども食堂」を開きました。そして身近な子どもたちに向き合うことの大切さを実感し、「寺子屋」「キワニス奨学金」などの活動を次々にスタートしました。

大人から子どもへ手を差し伸べる支援や奉仕ではなく、子どもと向き合うことで私たちも元気ももらっています。

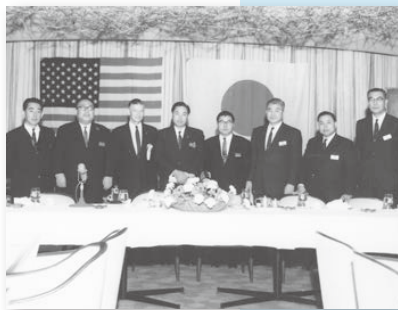
大人と子どもが「ともに生きる」「ともに育つ」。そういう対等で双方向の関係でありたいと願っています。

日本で初めてのキワニス

創立1964年1月24日



鹿内初代会長のもとに、
キワニスの歴史が始まる

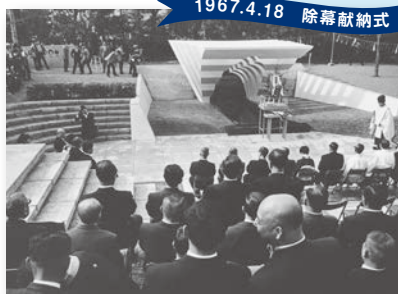


心をひとつに発起人メンバー

東京キワニスクラブの
誕生を祝う
チャーターナイト



国際本部から認証状授与
(チャーターセレモニーを伝える英文毎日新聞)



明治百年記念 「慰霊の泉」建立

50周年までの足跡を振り返る



1981.4.5～8 ASPAC東京大会



2014.4.11 50周年記念式典・祝賀会

2014.7.17～19
国際キワニス・ASPAC 合同年次総会
東京・千葉大会



2011～2013年
東日本大震災被災地
水産高校7校支援



50周年までの主なできごと

1964.1.24 東京キワニスクラブ発会式

1964.3.6 設立祝賀パーティー
例会場 東京ヒルトンホテル

1967 社団法人として認可
明治百年記念
「慰霊の泉」献納・除幕式

1976 例会場を経団連会館に変更

1981 ASPAC東京大会

2002 キワニスドールづくり開始

2009 例会場を法曹会館に変更

2011～13 東日本大震災被災地・水産高校
7校支援事業

2012 一般社団法人に移行

2014 設立50周年記念式典・祝賀会
国際キワニス・ASPAC合同年次総会

2021 例会場を学士会館に変更

60周年までの10年間

「会員相互の親睦・交流」と「子どものための奉仕活動」

60周年を迎えたいま、東京キワニスクラブは
この二つを車の両輪として活動してまいります。

そのためには、会員が楽しく集い、子どもたちのために
温かい応援をしていくことが大切です。

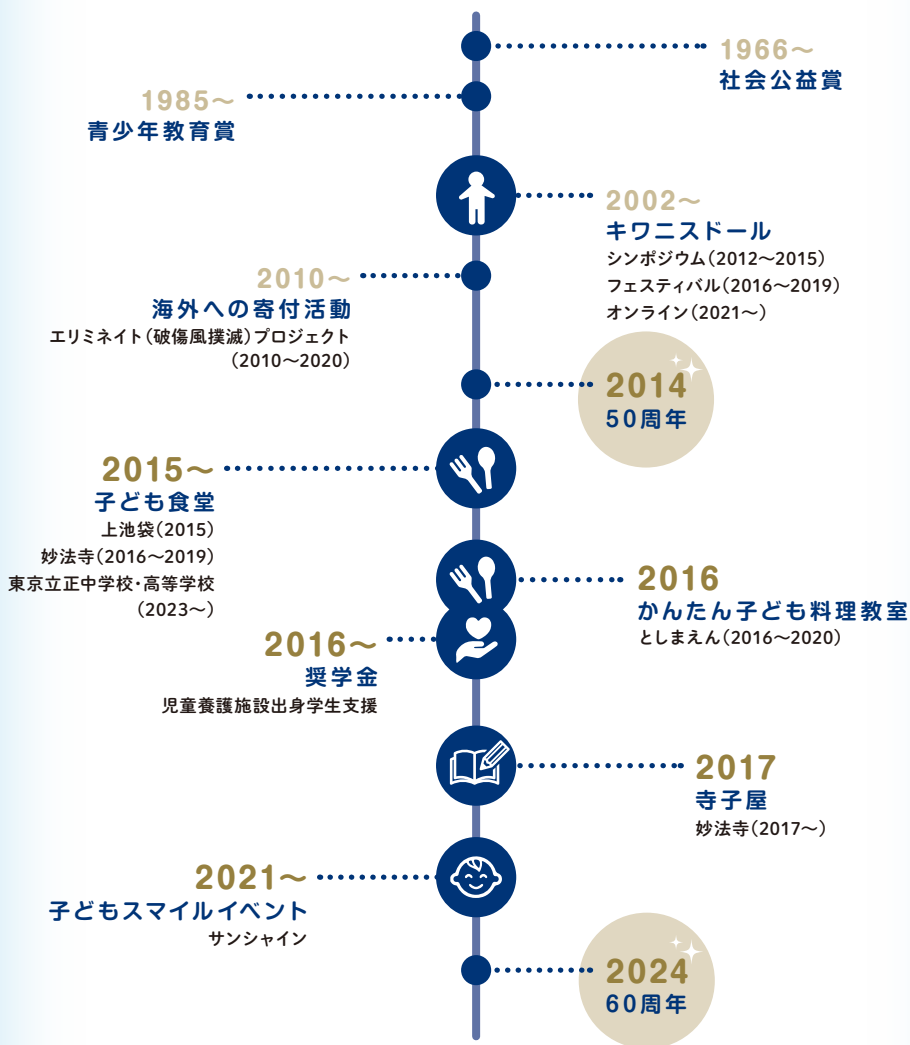
会員一人一人が楽しみながら社会に貢献できる仕組みづくりを
一緒に考えていきましょう。

創立60周年を祝う新年互例会

2024.01.09



この10年の歩み



子どもたちの顔が見える活動を始め、定着させた10年

20年以上前から続けているキワニスドールの普及・拡大に加えて、この10年間に「子ども食堂」「寺子屋」「スマイルイベント」を相次いでスタート。児童養護施設出身学生の進学を支援する「キワニス奨学金」の支給も始めました。

キワニスドール

2002年～

病気の子どもたちに、笑顔と夢を



真っ白な人形は、子どもとキワニスを結ぶ勇気の源



白い木綿生地にポリエステル綿を詰めた身長40cm、体重50gの目も鼻も口もない小さなお人形がキワニスドールです。

キワニスクラブでは、このお人形を作ります。何も身に着けていない、真っ白で、のっぺらぼうのキワニスドールですが、びっくりするほどすごいんです。病気で入院している子どもたちに寄り添い、手術や治療を乗り越えていく勇気を与えてくれます。

この10年間の作成数は1万3千体(2023年9月末まで)を超え、病気で入院している多くの子どもたちに寄贈しました。



自分だけの
友だちを作るよ



子どもたちは自分の分身、友達、家族など思い思いのお人形を作ります。
世界で一つだけ、自分だけのオリジナルです。
ひとりでの入院生活の寂しい夜も一緒に寝ればちょっと安心。



君のお腹は、こうやって治そう

お医者さんがドールに絵を描いて、治療の説明をします。
人形に注射をしてみせたり、検査や手術の方法についてもわかりやすく説明してくれます。



お父さん、お母さんのために

入院中のお父さん、お母さんのために、子どもがドールをつくる。
キワニスドールにはこんな使い方もあります。(写真・情報提供：四国がんセンター)



乳がん入院したお母さんのために、小学生の兄と妹が作ったドール。胸にポケットがついており、中にはお守りが。

緩和病棟に入院中のお父さんの病状を説明してもらった中学生の姉妹は、父親と一緒にドールを作成。右側のドールの裏には父親からのメッセージが。



学校や企業で「つくる会」開催

キワニス会員が作り方指導
教室や会議室でできるボランティア活動広がる



2018 キワニスドール・フェスティバル



ドールフェスティバルはコロナ渦を契機に
2021年から全国を対象にオンラインで開催しています。

子ども食堂

2015年～

おいしさが笑顔をつくる
「楽しいひととき」



みんなで食べると
おいしいね!

一流ホテルのクックさんの
カレーはサイコー!



〈会 場〉

2015～上池袋(豊島区) / 2016～2019 妙法寺(杉並区) / 2023～東京立正中学校・高等学校(杉並区)

コロナ渦で3年間休止ののち、2023年春から再開しました。

2023～東京立正



世代を超えて集う
時間・空間

共働き、ひとり親家庭では子どもが独りぼっちで食事することが増えている現代。世代を超えて楽しくおしゃべりしながら食べる「時間」と「場」を提供しています。地域の皆さんとともに年2回、春休みと夏休みに「キワニス子ども食堂」を開催しています。



2015 上池袋



2016～2019 妙法寺



かんたん子ども料理教室

in としまえん
2016～2020

ボクにもできるおいしい料理！



子どもたちは、食べるだけでなく自分の力で
作ることも大好き。

自主性を育み、食の大切さを学べる
楽しい料理教室です。

プロに習うと、なんだかレストランの料理を作っている気分になります。



会場の閉園により2020年で終了しました。



寺子屋

in 妙法寺
2017年～

遊んだり、学んだり、みんなが集う「居場所」



子どもたちの「居場所」として、
東京・杉並の妙法寺で月に2～3回、土曜日の10時～12時半に、
「寺子屋」を開催しています。
家でひとりぼっちになりがちの子どもたちに、昼食を用意して、
大人も子どもも一緒に楽しめます。

＼宿題がはかどるよ。読書や漢字検定の勉強も楽しい！／



2024.4.20に通算150回を迎えました!



春には卒業・進学のお祝い。



2021.12.4 100回記念!

夏休みは
最初の2～3日に連続して開催。
みんなで夏休みの宿題の
スタートダッシュをかける!



人気メニューは焼きそば、
豚しゃぶうどん。



夏らしく、屋外で流しそうめん。

お正月は恒例の書初め!



ランチはいつも手作り!



本の読み聞かせ、
みんなワクワクしながら聞いています。



みんなにお祝いしてもらって
ニコニコ～お誕生会。



お花を育てることも
教えて
もらいました!

この写真は「ASPAC グリーンジェネレーションコンテスト最優秀賞」に輝きました!



子どもスマイル



in サンシャインシティ
2021年～

おサカナいっぱい、ペンギンにも会えた 春休み、笑顔の思い出

～どこの国の子どもも、一緒に楽しむ～



「子どもスマイルイベント」は

東京・池袋のサンシャインシティで毎年、春休みに開催しています。

近くに住むひとり親家庭の子どもや、

ベトナム、ネパール、ミャンマーなど外国ルーツの子どもたちが参加し、
水族館見学、シナリオづくりなどを楽しんだあと、みんな一緒にランチを食べます。



シナリオ作りは面白い。
いろいろ想像しました。

みんなでキャラクターを考えた。
得意なものは？
苦手なものは？



キワニス奨学金

2016年～

児童養護施設出身者を応援

～自分時間を作るゆとりを～



児童養護施設から、大学・短大・専門学校への進学者向けに
給付型奨学金制度を設けています。

日々の学生生活が少しでもゆとりを持って過ごせるよう、
卒業まで物心両面のサポートを続けています。
奨学金は会員からの寄付で賄っています。

2016年から支給を開始、2024年春までに8人の奨学生が無事に卒業し、
社会人になりました。
現在5人の学生に奨学金を支給しています。

SLP

Service Leadership Programs

(学生・生徒版キワニスクラブ)

「SLP」とはService Leadership Programsの略であり、
奉仕活動を通じた次世代育成プログラムです。
年代別に学校や地域でボランティアクラブを設立し、
その自主運営を東京キワニスクラブがスポンサーとして支援し
ボランティア活動を通じた次世代の人格形成やリーダーシップ育成を目的としています。

2016～
サークルK武蔵野大学



2016～
座間アメリカン・ハイスクール・
キークラブ

2023～
NK考学舎キークラブ



ボランティア活動を表彰

～助け合いの気持ちを形に～

青少年教育賞

国際的な活動を含め青少年の健全育成に努めた個人または団体に、
賞状と副賞賞金を贈呈しています。

2023年 表彰式



社会公益賞

社会公益のために、長い間献身し続けている団体や個人に、
賞状と副賞賞金を贈呈しています。

2021年 表彰式



青少年と交流の輪を広げる

2017.
青少年教育賞表彰式 及び
ユースフォーラム交流会



2018.
ユースフォーラム交流会



2017.
米高校生らのホームステイ
受入れ



コロナ禍を乗り越えて

～どんな時も手を離さない～

コロナ禍で一時は、例会はおろか寺子屋も子ども食堂も開けませんでした。
それでも、日々の生活は続いていきます。
こんな時にキワニスでできることは何か、
会員の寄付を集めて支援事業に取り組みました。

2020. 会員寄付で4つの支援事業



1 生活支援一時金、大学・専門学校生
10人に10万円ずつ。



2 寺子屋参加の
小学生に「お弁当」配布、
延べ300食。



3 児童養護施設にパソコン寄贈、
オンライン学習に対応。



4 医療現場へ感謝
小児科病棟の看護師さんに
QUOカードを贈る。



寺子屋に集まる子どもたちは
全員マスク着用。
勉強する机には段ボールで
間仕切りを設置。



おうちでドールづくり



布と綿を宅配便で送り、
会員が自宅で人形の綿詰め作業。

コロナ渦の時期は、
会員同士オンラインで交流する
VIPサロンを毎月開催した。



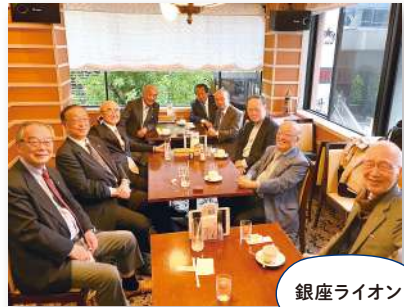
仲間とともに

会員の親睦・交流アルバム



この日は落語

2020. 例会



銀座ライオン

火曜会



2018. 国際懇話会



2017. 新年互例会



2016. ファミリーデー



会員の
ピアノ連弾

2017. サマーパーティー

仲間とともに

会員の親睦・交流アルバム



2016. 震災から5年「三陸の旅」



2018. なぎさ会(第100回)



2021. チャリティゴルフ大会



2015. 染色画家 鳥羽美香さんと訪ねる
京都の旅

仲間とともに

会員の親睦・交流アルバム



2016. ラフィエットクラブ
(米インディアナ州)と姉妹提携



2019. 新入会員オリエンテーション



2019. 日本橋散策



2019. カメラ部



2019. ワインを楽しむ会



2019. 囲碁クラブ

60周年記念としてご寄付いただいた会員の皆様

(50音順、5月15日現在)

伊藤一實	伊藤康成	小川恵三	鎗木栄胤
菅野良三	久我泰博	小池 明	佐藤満秋
鹿内宏明	鈴木健司	鈴木伸弥	田中正昭
谷口浩章	塚越孝三	朋政輝樹	鳥居正男
中井 毅	野田 健	花井喜則	藤原武平太
宮崎修二	山岸信久	山田明彦	山田賢治
山田夏樹	山田祐司	吉國真一	

〈企画／編集〉

東京キワニスクラブ広報委員会

〈写真／協力〉

フォトグラファー 富樂和也氏

〈製作／協力〉

株式会社 ネクストステージ

2024年5月23日

一般社団法人 **東京キワニスクラブ**



Kiwanis®